



えが お

令和7年7月23日発行
第5号

都立城東特別支援学校長
秋本 友美

認め合う 高め合う ～大切な存在～

校長 秋本 友美

校長室の応接テーブル机の上に、1冊の本を置いてあります。

「ぼく モグラ キツネ 馬」と言う書籍です。少年（ぼく）が動物と旅をし、対話から人生に必要なことを見つけていくという話です。どのページも、やさしいイラストとともに、少年（ぼく）と動物たちとの対話に、心に響く言葉が散りばめられています。

例えば、「今までに、あなたが言った中で、一番勇敢な言葉は？」と、少年が尋ねると、馬は「助けて」と答えました。また、「一番強かったのは、いつ？」と少年が尋ねると、馬は「弱みを見せることができたとき」と言い、さらに「助けを求めることは、あきらめることとは違う、あきらめないために、そうするのだ。」と言っています。

※出典 飛鳥新社『ぼく モグラ キツネ 馬』チャーリー・マッケジー 著・河村元気 訳

7月18日（金）の終業式等、子供たちや教職員に話したことを少し御紹介します。

- ①始業式で校長先生が話した「健康・学習・友達を大切にしよう」は、できたかな？
- ②「一学期、一人一人ががんばったことを振り返ろう」
- ③「皆さんを支えてくれた人（スクールバス・給食に関わる人たち・先生・企画室の人・そしてお家の方）に、ありがとうを言おう」
- ④「イヤだな」と思うことがあったら、まわりの大人に話してくださいね」
「人権」「意思表示」「コミュニケーション」、いずれも「教育のベース」です。



R7学校経営計画に、「人権尊重の精神に基づく教育活動の推進」を示した所以です。

「SOSの出し方に関する教育」の推進（自殺総合対策大綱（令和4年10月14日閣議決定））

- (1) いじめや体罰、不適切な指導等のない人権に配慮した教育の徹底及び早期発見・早期対応・未然防止に関する組織的な取組の充実
- (2) 他者への思いやりなど、豊かな心を一人ひとりの子供たちに育む道徳教育の推進
- (3) 自己表出・自己決定・自己選択の力を育み、「学びを人生や社会に生かそうとする力」の醸成

「身近にいる信頼できる大人に、SOSを出すことができるようにする。」そして、
「身近にいる大人や友達がSOSを受け止め、支援できるようにする。」子供同士だけではなく、教職員同士、教員と保護者の関係も然りですね。

上述の本からもう一つ。「涙がでるのはきみが弱いからではない。強いからだ。」
互いの良さを重んじ合う姿を、大人が示していきたいものですね。

夏季休業に入りました。一学期の学びを御家庭でも生かしていただいたり、この期間ならではの様々な体験をする等して、充実した夏季休業になることを願っています。

人権年間計画について

生活指導部担当主幹 陸川 香都

今年度は人権に関する年間計画を当初に作成しました。①「毎月の人権目標」②「お互いを大切にするアンケート」③「学校運営連絡協議会」④「人権研修」など、今まで実践している内容を一元化し目で見える形にすることで、より教員のすべき取り組みがはっきりと示され、教員全体で共有しています。

毎月実践している安全目標にリンクした形で①「人権目標」を今年度設定しました。「友達と仲良く」「一緒に活動する」「決まりを守る」など、学校生活を送る上で大切なことを皆で意識して学校生活を送れるようにすすめています。7月、11月、2月には児童・生徒に②「**お互いを大切にするアンケート**」の名称でアンケートを実施（7月は実施済み）します。**いじめの有無だけでなく一人一人の感じていること、困っていることや、子供同士の関わり**などを把握し、**ちょっとした変化にも気付いていければ**と思います。

その結果を踏まえて、学校全体で分析をし、対応等を進めて参ります。結果は、**ホームページの保護者専用ページ**にて保護者の皆様にもお知らせをしていきます。

児童・生徒、教員、学校に関わる全員が相手のことを考え、行動していくことで、皆が安全・安心で気持ちよく、学校生活を送ることができます。教員が人権への意識を高くもち、児童・生徒へ指導・支援を行っていくことで、その姿を児童・生徒が良き手本として行動することができます。

上述の良い循環や、アンケート等の実施で教員の危機センサーを上げ、本校の応援団である学校運営連絡協議会やいじめ対策委員会等で、様々な御意見を頂きながら、安心・安全な学校運営を進めていきます。

城東ハートフルアンケート (人権尊重の取組に関するアンケート)

主幹教諭 佐富 新吾

本校では、地域や関係者の皆様のお声を真摯に受け止め、「子供たちの人権を尊重し、豊かな心を育む学校である」ために、常に改善し続けることを目指しています。

7月から学校見学を初め、**御来校いただいた地域の方々や外部の方々**を対象にアンケートを実施しています。これは、率直に校内を御覧いただいて、人権尊重に関する改善点や課題点を明らかにするとともに、**次年度を待たずに即時に改善を図り**、学校運営に反映させるためです。

御来校の際に、保護者の方もお気づきの点がございましたらアンケート回答へ御協力くださいますよう、お願いいたします。

経営企画室前に城東ハートフルアンケートの御案内を設置しております。二次元コードを読み取って御回答ください。



なお、外部対象の城東ハートフルアンケートとは別に、学校経営計画に基づいた今年度の教育活動を評価し、次年度の準備を進めるため、①保護者、②教職員、③本人④地域及び関係機関を対象として、9月末に学校評価アンケートを行います。時期が近づきましたら改めて御連絡いたします。

【えがお後記】 東京都教育委員会は、人権尊重の理念とは「**自分の大切さと他の人の大切さを認めること**」であり、「全ての教育活動の基盤」であると示しています。私たち教職員は、人権が尊重される学級・学校づくりを常に心掛ける必要があります。そして、日頃の教育活動の中で問題を発見したり、その解決法を探究したりしていくことが重要であると考えます。

副校長 富樫 忠